

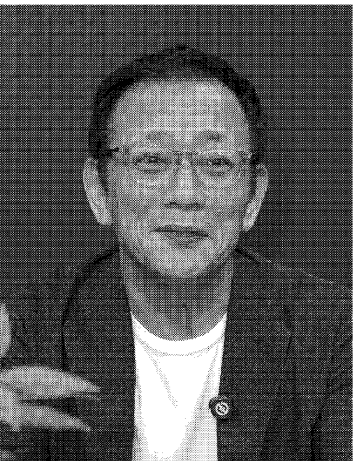
物流問題のアンサー 宮崎県 えびの市

宮崎県えびの市が、物流業の誘致で存在感を見せている。宮崎県の最西部にあり、熊本と鹿児島両県と接するなど南九州の中央部に位置する。市内でも方向に分散する高速道の利便性も生かし、市が造成した「えびのインター産業団地」を吸引力とする。「物流の2024年問題」の対応を背景に、サプライチェーン（供給網）を全国から引き寄せる。



対談、インタビューのロングバージョンは「えびの市広報」公式YouTubeチャンネルで公開します

南九州全域を補完／市の支援で人材確保



welzo
金尾佳文 社長

welzo（ウェルゾ）は九州各地に園芸・農業関連などの資材を扱う商社です。特に園芸関連商品の取り扱いが得意で、創業100年を超える企業であり、国内有数の流通業者としての自信があります。

えびの市には24年に物流拠点を新設しました。当社の基盤は九州に深く根付いていて、物流拠点を置くことで、南九州全域を補完できる最適な場所です。災害への強さも持っています。ここに物流拠点を置くことは、顧客であるホームセンターなどに比べ、九州全域で細やかなサービスを提供するために南九州への進出を決めました。

他方、人材採用には心配も少しありました。しかし、市が会社説明会を開いてくれるなど多大なサポートもあり、十分な人手を確保できています。

「なぜ、えびの？」立地企業に聞く

2024年問題に対応／国内物流を最適化

丸善グループは福岡県久留米市で創業し、運送と倉庫、観光、建設の4事業を柱とします。運送事業で一般貨物、生鮮食品などを九州から全国に届けるほか、全国で倉庫事業を手がけています。

その中で物流の「2024年問題」への対応が求められました。九州における物流の最適化を考えて「えびのインター産業団地」にハブ拠点となる「えびの物流センター」の進出を決めました。

九州を北、中、南の3地域に分けた時、南北で往來する物流量は偏りがあります。そうした不均衡の解消につなげる狙いです。

物流センターの運営開始から1年たち、課題はあったとはいえ、いい形で展開できていると感じています。



マルゼングループ協同組合
古賀大輔 代表理事

「えびのインター産業団地」の進出を決めたのは、九州を北、中、南の3地域に分けた時、南北で往來する物流量は偏りがあります。そうした不均衡の解消につなげる狙いです。

物流センターの運営開始から1年たち、課題はあったとはいえ、いい形で展開できていると感じています。



モーダルシフトを活用した、首都圏・関西圏を直接結ぶ物流実証

えびのインター産業団地 地の利を生かし誘致強化

南側で鹿児島島とつながる。市内で九州道から分岐する宮崎道では宮崎市内とつながる。近年は災害対応の面からも注目される。南海トラフ地震に対して津波被害の想定はなく、県内の後方支援拠点にもなる。市内に駐屯する陸上自衛隊との連携も強く、事業継続計画（BCP）の観点からも利点がある。

【対談】専門家が見る えびの市の強み

荒木「えびのインター産業団地」への進出企業には卸売業が多いです。南九州の販売店の納入に価値を感じているのでしょうか。2025年10月から国土交通省のモーダルシフト推進事業で、本州から南九州のえびのインター産業団地までのフェリー輸送実証実験を行います。国交省でも関心が高まっていると感じます。

えびのインター産業団地 立地企業		（順不同）	
企業名		業種	
一心商事	本社工場	食肉加工	
マルゼングループ協同組合	えびの物流センター	物流	
キシヤ		医療機器卸売	
welzo		園芸・農業関連資材卸売	
八代丸善運輸		物流	
高山／トランス・グリップ		菓子卸売	

えびの市が分譲中の「えびのインター産業団地」で、物流企業の動きが活発化している。ドライバーの時間外労働の上限規制が適用される「物流の2024年問題」に対応し、迅速な物流網を維持する狙いが背景にある。

同団地には24年、マルゼングループ協同組合（福岡県久留米市）が賃貸型物流センターを開業した。医療機器、園芸・農業用品、菓子の商社が入居する。マルゼングループ系は隣接する2区画を追加取得し、冷凍冷蔵倉庫を新設するなど積極的な投資を続ける。

荒木協和氏×村岡隆明市長

市による進出の後押しも大きい。労働力確保では1人最大40万円の助成金を従業員に直接給付する。労働力人口は近隣6市町を含めて約7万人。市が進出企業の説明会を開いたところ40人の枠に約200人が参加した。

えびのインター産業団地 立地企業		（順不同）	
企業名		業種	
一心商事	本社工場	食肉加工	
マルゼングループ協同組合	えびの物流センター	物流	
キシヤ		医療機器卸売	
welzo		園芸・農業関連資材卸売	
八代丸善運輸		物流	
高山／トランス・グリップ		菓子卸売	

宮崎県えびの市

えびのインター産業団地

対象業種・物流業・製造業・小売業等

宮崎県の補助限度額50億円
えびの市独自の助成金と九州高水準の宮崎県補助金も併給可能！

優れた交通アクセス
産業団地から九州自動車道えびのICまで500m、国道にも直結！

良質な「水」と新鮮な「食」
霧島連山の麓に位置し、豊かな自然の恵みである温泉・良質な水そして宮崎牛やえびの米など新鮮で美味しい農畜産物が魅力

分譲単価 **12,000円/㎡** (39,600円/坪)

宮崎県えびの市
全体面積：17.3ha
分譲対象：11.37ha
分譲可能：6.09ha

物流、製造、小売業等
えびの市上水道、地下水
企業内処理→調整池→排水路

高圧6,600V
特別高圧22,000V
特別高圧66,000V
(電力会社へ要事前相談)

LPガス
12,000円/㎡
(造成後価格)

用地取得費の助成制度あり

区画図

分譲用地
一般道路
主要区画道路
幹線道路
調整池
公園等
国道

労働力確保を支援
近隣6市町を含めた労働力人口は約7万人。人材マッチングも支援「雇用対策助成金」として1人最大40万円を従業員に直接交付

	総人口	生産年齢人口
えびの市	17,638	8,188
小林市	43,670	21,866
高原町	8,639	4,050
湧水町	9,119	4,201
伊佐市	24,453	11,490
人吉市	31,108	15,261
錦町	10,288	5,330
合計	144,915	70,386

令和2年国勢調査

南九州のど真ん中
えびの市で、
新たなビジネスチャンス
を掴みませんか！

Access

高速道路利用での所要時間
(えびのICから)

福岡IC …… 約2時間25分
熊本IC …… 約1時間20分
宮崎IC …… 約1時間
鹿児島IC …… 約50分

空港までの所要時間
(えびのICから)

鹿児島空港 …… 約30分
宮崎空港 …… 約1時間20分
熊本空港 …… 約1時間20分

港までの所要時間
(えびのICから)

八代港 …… 約1時間10分
宮崎港 …… 約1時間
志布志港 …… 約1時間30分

えびの市

えびの市

えびの市

宮崎県
えびの市

企業立地課
TEL 0984-35-3727 FAX 0984-35-0401

企業立地促進補助金（宮崎県・えびの市）
県の補助金と市の優遇制度は併用が可能です。非常に充実した内容となっていますので制度の詳細について、ぜひ一度お問い合わせください。